

令和8年度 名取市地域ケア推進会議 概要報告書

令和8年9月25日

名取市長 山田 司郎 様

健康福祉部介護長寿課長寿健康係
技術主幹 佐藤 久美子

令和8年度 地域ケア推進会議を開催しましたので、その概要を下記のとおり報告いたします。

記

<日 時> 令和8年9月4日(金) 午後6時25分から午後8時10分

<会 場> 名取市民体育館 第1会議室

<出席者>

委員：溝井会長、轡副会長、久保田委員、相馬委員、佐々木委員、吉田委員、菊地委員
今野委員、佐藤（和）委員（欠席：佐藤（智）委員）

説明者：東地域：豊田所長、南地域：宮地所長、西地域：桃野所長、中部地域：村上所長
名取市医療・介護連携支援センター 高橋相談員、
名取市認知症初期集中支援チーム 尾形チーム員
名取市社会福祉協議会 渡邊第1層生活支援コーディネーター

事務局：中山健康福祉部長、橋本課長、高橋課長補佐、安齋係長、吉田技術主査、
大竹保健師、佐藤

傍聴者：なし

<内 容>

【委嘱状交付式】

1 開 式

2 委嘱状交付

代表受領：中山健康福祉部長より、溝井 賢幸 委員へ交付

3 閉 式

【令和8年度 名取市地域ケア推進会議】

1 開 会

2 あいさつ 名取市健康福祉部長 中山 聖子

3 委員紹介(自己紹介)

4 会長・副会長の互選

会 長：溝井 賢幸 委員

副会長：轡 基治 委員

5 議 事

「情報公開への対応と会議の公開について」 (事務局より説明)

議 長：委員のみなさまから今の説明に対してご意見やご質問はございますでしょうか。

委 員：特になし

<報告事項>

- (1) 地域ケア推進会議について 資料1 (事務局より説明)

議 長：委員のみなさまから今の説明に対してご意見やご質問はございますでしょうか。

委 員：特になし

- (2) 地域ケア会議の開催状況について 資料2 (各包括所長より説明)

- (3) 医療・介護連携支援センターの取組状況について 資料3

(高橋相談員より説明)

議 長：委員のみなさまから今の説明に対してご意見やご質問はございますでしょうか。

委 員：特になし

- (4) 認知症初期集中支援チームの取組状況について 資料4

(尾形チーム員より説明)

- (5) 第1層・第2層協議体の取組状況について 資料5

(渡邊コーディネーターより説明)

議 長：委員のみなさまから今の説明に対してご意見やご質問はございますでしょうか。

委 員：特になし

議 長：それでは報告が終わりましたので、それぞれ委員の方からご意見やご感想を頂ければと思います。

まず私から申し上げますが、地域包括支援センターの話から災害（水害・地震・津波）対応等いろんなことが起きる時代なので、いろいろ考えて行かなければならない。

医療・介護の問題では、家族がいない・遠方・いても積極的に関わらない等家族の問題がある。介入が難しく、いかに介入していくか、どうしたらよいか現場では悩む。支援が必要な患者の相談窓口・解決してくれるために積極的に関わってくれるところがあればよい。それでは順番にご感想やご意見をお願いいたします。

委 員：地域包括ケアシステムは多岐にわたり、広い範囲の内容を行っている。人員は足りているのかと思うが、横のネットワークでカバーしているのか。一人暮らしの患者でこの人が倒れたらどうなるのかと考えることがある。ヘルパーは来ているのか等聞ける人と聞けない人がいる。歯みがきの仕方ですり残しが出てきたり等歯の環境の変化で気になる人がいる。また、予約日に来なかったりや気になる人もいる。アシストできるシステムがあればよい。

委 員：地域ケア会議や協議体はこの会議で話し合うことは難しいと考える。医療と介護の専門職が多い会議体なので、それ以外の内容を市政にどう反映させていくのか検討することは、この会議では手に負えないことが増えていると感じる。

委 員：地域包括ケアシステムについて話し合うこの会議の役割が大きく、責任が重いと感じた。会議の役割である①包括的・継続的ケアマネジメント支援の推進 ②在宅医療と介護連携の推進 ③生活支援及び介護予防サービスの体制整備の推進 ④認知症施策の推進を短時間で議論することは難しい。事業の効果等活動を共有する場になるのかと思う。

委 員：普段は施設内で利用者のみとの関わりで、狭い視野だった。広い視点で名取市を知るよい機会になった。地域に必要なニーズを吸い上げて広げ、全体で共有できれば考える。

委 員：普段はケアマネの仕事なので、個別のニーズは拾い上げているが、全体はなかなか見えていなかった。名取市も海側から山側まであり、地域によってニーズが違うと思う。ささいな課題でも包括に上げ、そこから行政に上げていくことで、地域包括ケアシステムを完成形に近づけて行きたい。

委 員：医療・介護、認知症、地域づくりの取組が少しずつ前進している。他市町村の取組を参考に進めて行くのもよいと思う。ゆりが丘地区では庁内連携で都市計画課と協働で地域ケア会議を進めており、よい取組だと思う。

委 員：多くの事業をしていて、知らないことが多く勉強になった。民生委員は繋ぐ役割で、繋ぐためには知識がないと繋げないので、今日は反省させられた。様子を見に行き、気に

なれば包括に繋がりたいので、これからもよろしくお願いします。

委員：こころの健康づくりは繋がるのが大切である。相談窓口の周知はやっていかなければならない。関上地区のコミュニティを考えるために居場所づくりを前向きに進めて行ってほしい。

議長：一巡しましたが、ほかに何か追加でご意見がありましたらお願いいたします。

委員： 特になし。

議長：ご意見等なければ、以上で本日の議事を終了いたします。ご協力ありがとうございました。

6 その他

司会：それでは、「その他」に移ります。委員のみなさまから何かお伝えしたいことはありますでしょうか。

相談員：9月25日(金)18:30~20:00「医療機関・介護施設における患者・家族からの悪質クレーム・ハラスメントに対する現場対応のポイント」をテーマにタイハクホール名取（名取市文化会館）3F 小ホールにて研修会を開催しますので、ご都合がつく方はご参加ください。

事務局：10月3日(土)13:30~15:00「認知症に備えるお金の管理～大切な人と未来を話そう～」と題してタイハクホール名取（名取市文化会館）3F 小ホールにてセミナーを開催しますので、ご都合がつく方はご参加ください。

司会：事務局から次回の日程についてご連絡申し上げます。今年度は2回の推進会議を予定しております。詳細が決まりましたら、開催日の1か月前にはお知らせいたしますので、よろしくお願いいたします。

閉会の挨拶

副会長：本日は遅い時間までありがとうございました。今年度から新たな委員での初めての会議で、情報がたくさんあり、意見もたくさん出てよかったのではないかと思います。なかなか議論や意見を出し切れないと思いますが、8・9年度皆様と協力して進めて行きたいと思いますので、よろしくお願いします。お疲れさまでした。

7 閉会